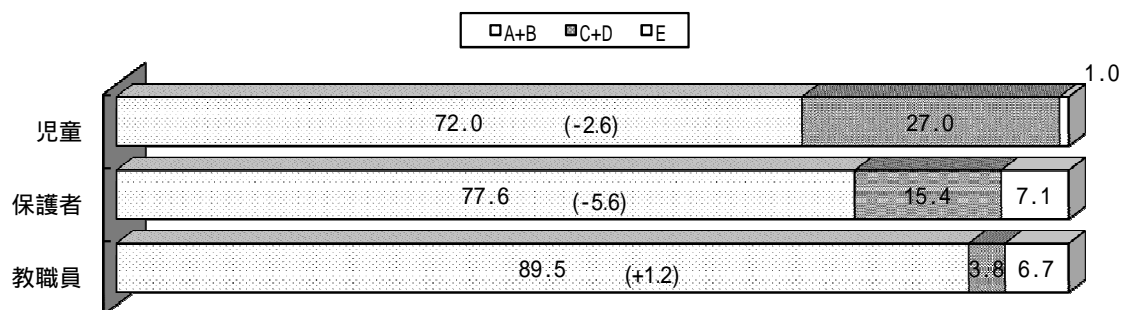
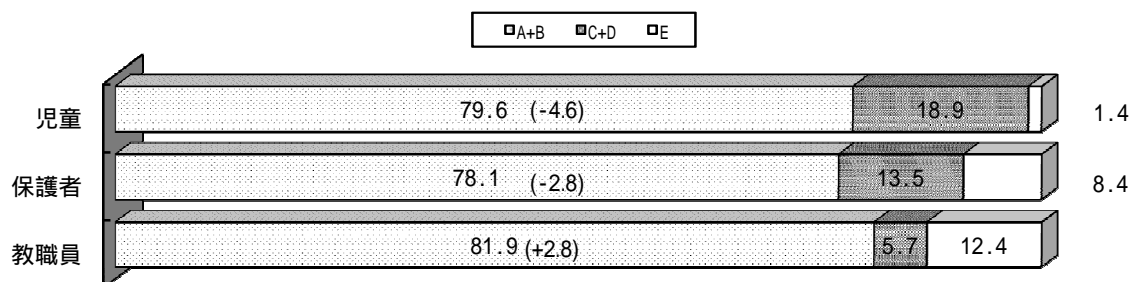


4 先生は、授業がわかりやすいように工夫しているようだ



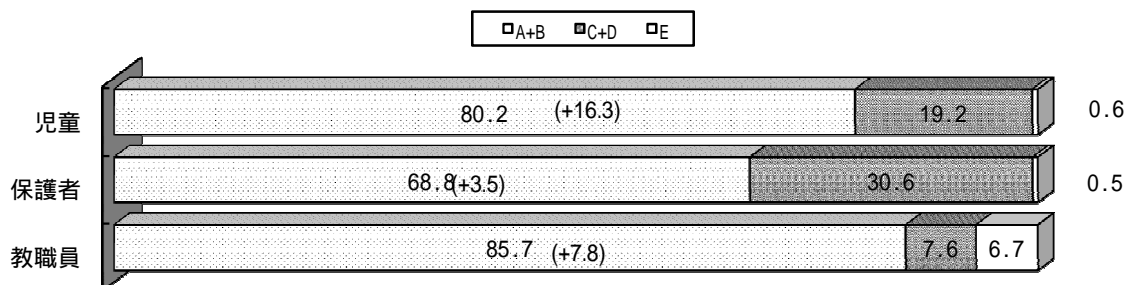
(分析) 児童・保護者とも肯定的な回答が若干減少したが、児童保護者ともに7割を超えて学校の授業に対し肯定的にとらえている。
 今後も、楽しくわかりやすい授業を旨とし、少人数指導や習熟度別指導等の授業改善を含め、教材研究や学校全体での授業力向上のための校内研修を行う必要がある。

5 先生は子どもの能力や努力を適切・公平に評価している。



(分析) 児童・保護者とも肯定的な回答が昨年度より若干減少しているが、8割近くを維持できていることは、評価できるといえる。
 児童に対して適切・公平な評価を行い、その観点や方法について保護者にもわかりやすく説明していくことが求められる。

6 家庭でも学習時間をきちんと取っている。



(分析) 児童の肯定的な回答が大きく増加している(プラス16%)。
 児童の学力向上には、家庭学習の習慣を身に付けさせることが大切な要素である。
 各校の自学自習力育成の取組みが成果として表れている。